

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2008-20902(P2008-20902A)

【公開日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-004

【出願番号】特願2007-155361(P2007-155361)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

B 6 5 H 7/20 (2006.01)

B 6 5 H 43/04 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 7 2

G 0 3 G 21/00 5 0 0

B 6 5 H 7/20

B 6 5 H 43/04

G 0 3 G 15/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月14日(2010.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の排紙口を有する排紙オブション装置が接続される画像形成装置であって、
画像を形成するための画像形成部と、
前記画像形成部に搬送される用紙の搬送方向のサイズを検出する検出部と、
予め設定されるサイズの用紙を排出する前記排紙オブション装置の排出口を指定する制御部と、を有し、

前記制御部は、前記検出部によって検出される用紙のサイズが予め設定される用紙のサイズよりも大きいことを示す用紙サイズ不一致情報に応答して、画像形成装置と前記排紙オブション装置の動作を継続するために前記予め設定される用紙のサイズよりも大きな用紙を排出可能である前記排紙オブション装置の排紙口があるか判断し、前記予め設定される用紙のサイズよりも大きな用紙が排出可能な排紙口がある場合は、排出可能な排紙口に前記予め設定される用紙のサイズよりも大きな用紙を排出するように指定を変更すること
を特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記予め設定される用紙のサイズよりも大きな用紙が排出可能な排紙口がない場合は、画像形成装置と前記排紙オブション装置の動作を中断するように制御すること
を特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記排紙オブション装置の動作を制御する排紙オブション制御部を有し、
前記排紙オブション制御部は、前記制御部からの指示に基づき前記排紙オブション装置の動作を制御すること
を特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

用紙の両面に画像形成を行う両面印刷モードと、

前記用紙サイズ不一致情報を前記制御部に送信するエンジン制御部を有し、

前記エンジン制御部は、前記両面印刷モードにおいて、前記排紙オプション装置ではなく両面搬送路に用紙が搬送される際には、前記検出部により用紙のサイズが予め設定される用紙のサイズよりも大きいと検出されても、前記制御部に前記サイズ不一致情報を送信せず、前記両面搬送路に搬送された後、前記排紙オプション装置に用紙を排出する際には、前記サイズ不一致情報を送信せずに前記検出部により検出された用紙のサイズを前記制御部に送信することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

このような目的を達成するために、本発明の画像形成装置は、複数の排紙口を有する排紙オプション装置が接続される画像形成装置であって、画像を形成するための画像形成部と、前記画像形成部に搬送される用紙の搬送方向のサイズを検出する検出部と、予め設定されるサイズの用紙を排出する前記排紙オプション装置の排出口を指定する制御部と、を有し、前記制御部は、前記検出部によって検出される用紙のサイズが予め設定される用紙のサイズよりも大きいことを示す用紙サイズ不一致情報に応答して、画像形成装置と前記排紙オプション装置の動作を継続するために前記予め設定される用紙のサイズよりも大きな用紙を排出可能である前記排紙オプション装置の排紙口があるか判断し、前記予め設定される用紙のサイズよりも大きな用紙が排出可能な排紙口がある場合は、排出可能な排紙口に前記予め設定される用紙のサイズよりも大きな用紙を排出するように指定を変更することを特徴とする。